

施策評価シート

施策コード	4204	平成26年度 第9次鳥取市総合計画		
施策名	移住・定住の促進	所属名	企画推進部地域振興監 地域振興課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○働く場に加え、学ぶ場を求める若者の大都市圏への流出が続く中、田舎暮らし志向や郷土愛にあふれた若者が活発に集い、定住しやすいまちづくりを進めることが求められています。</p> <p>○「スローライフ」や「田舎暮らし」、「二地域居住」などのライフスタイルに対するニーズが多様化する中、地域の空き家や農地などを活かし、移り住んでみたいと思える地域づくりを進め、移住人口が増大することが期待されています。</p> <p>○県外からのUJIターンなどの移住希望者に対し、多様なニーズに応えられる相談体制の充実や情報発信の強化が求められています。</p> <p>○中心市街地では空き地、空き店舗の増加など空洞化が進み、また中山間地域では、暮らしに対する不便などから過疎化が進行しています。このため、まちとむらの交流などによるにぎわいの回復と地域の活性化が求められています。</p> <p>○本市においても、グローバル化に伴い外国人労働者や留学生が増加していくものと予想されます。文化や生活環境の違いを互いに理解し合い、外国人にとっても生活しやすい都市環境をつくる必要があります。</p>
めざす方向	郷土愛にあふれた若者を育むとともに、生活の舞台である地域との連帯感やかかわりを強めることで、若者にとって定住しやすいまちづくりを進めます。また、地域資源を最大限活用したまちの魅力向上により、県外からも移り住んでみたいと思えるまちをめざします。
達成するための対策・手段	<p>①鳥取市若者定住戦略方針の推進</p> <p>②むらとまちの交流・グリーンツーリズムの促進</p> <p>③UJIターンの促進</p> <p>④外国人が暮らしやすい環境づくり</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	移住・定住人口累計	人	目標	500	600	1000	1180	1360
				実績	750	964	1252	1603	0
				目標達成率	150%	161%	125%	136%	
		(指標の説明) 鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口を通じて本市に移住した人数。(基準値は平成21年度)							
	2	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合	%	目標	0	0	0	83.6	0
				実績	0	0	0	82.1	0
				目標達成率				98%	
	(指標の説明) 市民アンケート調査で、住んでいる地域に今後も住み続けたいと回答をした市民の割合。(基準値は平成21年度)								
	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
目標達成率									
(指標の説明)									

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	48,183	77,453	90,738	79,496	0

5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>平成18年9月に「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」を開設し、本格的にUJIターンの相談体制を整え、専任相談員の配置、無料職業紹介、住宅取得・改修に対する助成、空き家の紹介など様々な支援策を設け、「本市HP」等での情報発信、東京・大阪で相談会を開催し、本市の魅力アピールする等の取り組みにより、窓口を開設して以来、平成26年度末までに1,603人が移住定住を果たすなど、大きな成果を挙げている。</p>
---	--

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」を平成18年9月1日に開設して以来、平成26年度末までに1,603人が移住定住を果たすなど、着実に大きな成果を挙げている。これまで効果のあった事業を拡充・継続して展開するとともに、就業・起業支援、就業支援、CCRCの導入、子育て支援環境の充実等、若者から団塊の世代まで各世代のニーズにマッチした幅広い「トータル支援」により、引き続き移住定住施策を推進していく。</p>

事務事業評価シート

事務事業コード	001950	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	若者定住戦略方針推進事業		所属名	企画推進部	政策企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4204	移住・定住の促進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	移住・定住人口累計		750人	1,360人	運営方法	直営
	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	若者定住戦略方針推進事業費			予算事業コード	01-02-01-07-01-34

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県内外の若者
意図 (どのような状態にするために)	若者の交流人口の増加と地元定着への機運を高める。
手段 (どうするのか)	5つのプロジェクトごとの指標及び各事業の達成数値目標の達成に向けた取組を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ビデオコメント依頼、成人式会場内でのブース設置、各種調査・研究など	平成24年度 ビデオコメント依頼、成人式会場内でのブース設置、各種調査・研究など	平成25年度 前年度状況を判断し検討	平成26年度 指標及び達成数値目標の達成に向けた事業の推進	平成27年度 指標及び達成数値目標の達成に向けた事業の推進	
	年度別実績	ビデオコメント依頼、成人式会場内でのブース設置、各種調査・研究など	ビデオコメント依頼、成人式会場内でのブース設置、各種調査・研究など	若者定住戦略方針の見直し、改訂版の策定	若者定住戦略方針の印刷・配布		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,571	7,761	7,285	7,522	0	
	直接経費 A	821	335	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	821	335	0	0	0	
人件費 B	750	7,426	7,285	7,522	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	15歳以上-39歳未満 社会動態(年間(1~12月)転入者数)	単位	人	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		実績	3414	3205	3174	3330	0					
	(指標の説明)	15-39転入人数社会動態										
2	目標	0	0	0	0	0						
	実績	0	0	0	0	0						
(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0						
	実績	0	0	0	0	0						
(指標の説明)												

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153
	【9次総の施策体系】4204
	【予算計上の経過】なし
	<p>【事業の概要】 本市では、平成18年度から「人口増加対策本部」を設置し、人口増加に資する各種施策の充実に努めてきたが、働く場・学ぶ場を求める若年層の人口流出や未婚・晩婚化による少子化などが大きな課題となっている。こうした側面への重点的取り組みを行うため、「雇用拡大・若者定住対策本部」として新たに再スタートするとともに、「鳥取市雇用創造戦略方針」、「若者定住戦略方針」を策定し、新たな雇用の創出と若者定住のための各種施策の展開を図ることとした。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度でこれまでの「鳥取市雇用創造戦略方針」、「若者定住戦略方針」の取組が終了したが、依然重要課題であるという認識の下、両方針の見直しを行った。改定を行った「若者定住戦略方針」では重点事業の精査をするとともにこれらに対応する目標を設定し若者定住にどの程度寄与しているか検証を行っていくこととした。</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後は「賑わいのある『すごい！鳥取市』創生本部」へ発展改組し、人口減少克服に向けた取組を行う。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	15歳以上-39歳未満 社会動態(年間(1~12月)転入者数)	98%	92%	91%	95%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	若者定住戦略方針を掲げ全庁的に推進を図ることは極めて需要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	全庁的に若者定住という視点を意識しながら事業を推進していくことは、次代の鳥取市に賑わいと希望をもたらすには不可欠である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	今後各事業の検証を担当部局と一体になって行うことで幅広い視点で若者定住施策に活かしていくことができる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取の魅力創造、教育環境の充実、健康と子育ての応援、優れた住環境創造、若者の暮らし応援といった若者のための幅広い取組を展開することとしている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input checked="" type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後は「賑わいのある『すごい！鳥取市』創生本部」へ発展改組し、人口減少克服に向けた取組を行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002878	重点事業区分	リープロ3	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	鳥取市地元大学等卒業生就職奨励事業		所属名	企画推進部	政策企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4204	移住・定住の促進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	移住・定住人口累計		750人	1,360人	運営方法	直営
	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取市地元大学等卒業生就職奨励金			予算事業コード	01-02-01-07-48-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地元の大学又は私立専修学校を卒業し、市内の企業等に就職し、市内に定住したものに對し就職奨励金5万円を交付する。
意図 (どのような状態にするために)	奨励金交付による若者の地元定着への機運の向上
手段 (どうするのか)	就職奨励金(1人5万円)の交付

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			奨励金交付者:186名	奨励金交付者:186名	奨励金交付者:186名	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	4,300	3,950	0	
	直接経費 A	0	0	4,300	3,950	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	4,300	3,950	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	交付者数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		(指標の説明)	人	目標	0	0	186	186	186
	2		目標	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)	実績	0	0	86	79	0	
	3		目標	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153
	【9次総の施策体系】4204
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P35(企010)
	【事業の概要】 次に掲げる要件のいずれにも該当する者に対し、5万円の奨励金を交付する。 ○鳥取環境大学、鳥取大学(医学部を含む。)又は私立専修学校(以下「地元大学等」という。) を卒業した日の属する年度の翌年度において、市内に本店又は支店を有する事業所(官公署を除く。)に継続的な形態で雇用された者(ただし、雇用契約期間は1年以上とする。)であって、当該事業所に引き続き6か月以上雇用されているもの。 ○地元大学等を卒業した日の属する年度の翌年度において、市内において自営業に従事した者であって、当該自営業に引き続き6か月以上従事しているもの。 ○住民基本台帳法の規定に基づき本市の住民票に記載されている者であること。 ○過去に奨励金の交付を受けていないこと。 ※平成26年3月卒業者を対象とする。
	【事業の成果】 平成25年度: 4,300千円(86人) 平成26年度: 3,950千円(79人)
【今後の課題・方向性】 本奨励金の交付による定住促進の効果について、直接的な動機づけになっているか疑問があることから、今後同様のことを行うのであれば、手法や対象者などの検討が必要である。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	交付者数			46%	42%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	人口減少傾向にあつて若者定住を促進することは地域のきつ級の課題である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	奨励金が地元就職への直接的な動機づけになっているとは言えない。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	若者定住のための投資としての額は妥当である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	他県からのUターン学生、県内他市の学校卒業者等との公平性の観点から検討する必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input checked="" type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	本奨励金の交付による定住促進の効果について、直接的な動機づけになっているか疑問があることから、今後同様のことを行うのであれば、手法や対象者などの検討が必要である。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002879	重点事業区分	リープロ3	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	鳥取市UJIターン若者就職奨励事業		所属名	企画推進部地域振興監 地域振興課	

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成27年度
	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市若者定住戦略方針、鳥 取市人材確保推進プロジェクト
4204	移住・定住の促進				
目標の種別	移住・定住人口累計	平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合	750人	1,360人	運営方法	補助金交付
		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取市UJIターン若者就職奨励金		予算事業コード	01-02-01-07-49-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市に移住定住し登録市内企業に就職又は自ら起業した満40歳未満の者
意図 (どのような状態 にするために)	市内企業が求める人材を確保するとともに移住定住人口の増加を促進する。
手段 (どうするのか)	奨励金を交付し、本市への移住定住・就職関連情報を強く発信する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画			就職奨励金の交付 ・本人交付 200人 ・世帯交付 50世帯	就職奨励金の交付 ・本人交付 160人 ・世帯交付 45世帯	就職奨励金の交付 ・本人交付 100人 ・世帯交付 25世帯	
	年度別実績			就職奨励金の交付 ・本人交付 107人 ・世帯交付 59世帯	就職奨励金の交付 ・本人交付 126人 ・世帯交付 83世帯		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	8,329	10,752	0	
	直接経費 A	0	0	7,600	10,000	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	7,600	10,000	0	
人件費 B	0	0	729	752	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	登録市内企業に就職又は自ら起業した移住定住者数	人	目標	0	0	250	250	0
		実績		0	0	107	126	0	
	(指標の説明) H26事業終了								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 移住定住促進係 0857-20-3184</p> <p>【9次総の施策体系】 4204</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 4 1 (企 0 2 1)</p> <p>【事業の概要】 下記の条件をすべて満たす対象者に対し、10万円の奨励金を交付する。また、配偶者又はその他 扶養親族とともに転入した対象者については、それぞれ5万円を加算する。 ただし、同一の世帯に交付する額は、20万円を上限とする。 対象者： ○県外に1年以上居住していた者で平成24年4月1日以降に本市に転入した者 (県外の大学に在学していた者を含む) ○本制度の開始(平成24年10月1日)から平成27年3月31日までに、本市に登録した企業に 継続雇用された者(雇用契約期間は1年以上とする)、または、本市において起業した者 ○採用時、または、起業時の年齢が満40歳未満の者</p> <p>【事業の成果】 平成25年度 59世帯 107人 7,600千円 平成26年度 83世帯 126人 10,000千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 今年度の交付を持って制度を終了する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	登録市内企業に就職又は自ら起業した移住定住者数			43%	50%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	若者のUターンを強く促すとともに、Iターン誘導効果が高い。また、市内企業情報等を積極的に内外に発信できる事業である。(県外在住UJIターン者支援事業)
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	若者の着実な帰郷・移住定住者増加につながっている(県外在住UJIターン者支援事業)
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実際の移住定住者増加効果とともに本市並びに本市UJI促進施策全体の魅力をアピールす効果が大きい(県外在住UJIターン者支援事業)
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	県内大学等卒業生に対する就職奨励金と連動し、より広い対象者に対して地元就職・移住定住を促している。なお、対象者は平成24年10月1日から平成27年3月31日までの間に就職・起業した者に限られる。(県外在住UJIターン者支援事業)

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>平成18年9月の相談窓口開設以降の移住定住者が795世帯、1,603人(平成26年度末)に到達している。 今年度の交付を持って制度を終了する。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	000768	重点事業区分	リープロ6	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	里山交流促進モデル事業		所属名	企画推進部地域振興監 地域振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市中山間地域対策強化方針、鳥取県みんなで取り組む中山間地域振興条例
施策	4204	移住・定住の促進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	移住・定住人口累計		750人	1,360人	運営方法	補助金交付
	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	里山交流促進モデル事業費		予算事業コード	01-02-01-07-32-09	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内に住所を有する各種団体
意図 (どのような状態にするために)	それぞれの地域の魅力と中山間地域が持つ機能・役割について理解を深め、相互が連携した共存共栄の地域づくりを推進する。
手段 (どうするのか)	交流実施団体が相互交流を企画運営するための経費を支援する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 交流支援(新規・継続)年10交流を支援	平成24年度 交流支援(新規・継続)年10交流を支援	平成25年度 交流支援(新規・継続)年10交流を支援	平成26年度 交流支援(新規・継続)年10交流	平成27年度 交流支援(新規・継続)年9交流	
	年度別実績	交流支援 9交流18団体	交流支援 8交流16団体	交流支援 6交流12団体ほか	交流支援 6交流12団体ほか		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,635	1,493	1,329	1,326	0	
	直接経費 A	885	750	600	574	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	231	191	215	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	885	519	409	359	0	
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		年間の交流数	交流	目標	10	11	10	12	9
	(指標の説明)		実績	9	8	6	6	0	
2				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 振興係 0857-20-3185</p> <p>【9次総の施策体系】 2101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P38 (企015)</p> <p>【事業の概要】 中山間地域の住民が主体的に実施する、地域の自然・文化・特産品等を活用した都市部などの市民との交流活動を支援し、むらとまち双方の活性化を図る。 農山村と都市双方が各地域の魅力や中山間地域の多面的機能を再認識するとともに、相互に価値を認め合い共存共栄していくための貴重な交流機会の創出・支援を担う。 (補助金交付) 補助率10/10、補助金上限10万円 (最長3年間)</p> <p>【事業の成果】 平成24年度 8交流16団体 750千円 平成25年度 6交流12団体 600千円 平成26年度 6交流12団体 574千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 支援期間終了後も、引き続き交流活動が定着・拡充していくよう、継続した啓発・支援が重要である。交流事例の周知を行い、多様な市民団体の活用を促進していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	年間の交流数	90%	73%	60%	50%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	交流により相互に価値を認め合い共存共栄していくための機会を創出している。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	交流人口増加とともに、交流を通じて相互地域の魅力や資源を再認識し有効活用や課題解決につながる契機となっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	継続した交流へつながるよう啓発が求められる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	多様な市民団体が活用できるよう周知していく必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 平成26年度より農作業体験交流促進事業と統合、審査会制度を設けるなど効果的な取り組みとなるよう改善を行っている。むらとまちが相互地域の魅力や資源を再認識し有効活用や課題解決につながる契機となっている。今後も交流活動の促進・定着を推進し継続発展を図る。		

事務事業評価シート

事務事業コード	001955	重点事業区分	リープロ6	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	グリーンツーリズム推進事業		所属名	企画推進部地域振興監 地域振興課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市中山間地域対策強化方針、鳥取県みんなで取り組む中山間地域振興条例
施策	4204	移住・定住の促進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	移住・定住人口累計		750人	1,360人	運営方法	補助金交付
	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	グリーンツーリズム推進事業費		予算事業コード	01-02-01-07-34-05	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取市グリーンツーリズム連絡会 とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会 武蔵野市家族自然体験事業
意図 (どのような状態にするために)	都市住民が本市の農林漁業・文化・歴史等を通じて滞在型余暇活動を行うことにより中山間地域の振興を図るとともに、本市への移住定住を促進する。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 研修会や交流会を行い会員間の連携強化や魅力向上に取り組む鳥取市グリーンツーリズム連絡会の支援を行う。 簡易宿所の開設又は民泊開設の研修の支援、優良事例の現地研修の支援、会員等に関する活動をHP等を活用して全国に発信するとっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援を行う。 武蔵野市家族自然体験事業を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	鳥取市グリーンツーリズム連絡会会員数、宿泊・体験者数等の増えた簡易宿所認可棟数の増を目指す。	鳥取市グリーンツーリズム連絡会会員数、宿泊・体験者数等の増えた簡易宿所認可棟数の増を目指す。	とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会への参画 ・鳥取市グリーンツーリズム推進協議会の活動支援	とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会への参画 ・鳥取市グリーンツーリズム推進協議会の活動支援	とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会への参画 ・鳥取市グリーンツーリズム推進協議会の活動支援	
	年度別実績	・会員数 11団体 ・宿泊・体験者数550人 ・簡易宿所申請8件	・会員数 12団体 ・宿泊体験者数 1,300人 ・簡易宿所申請2件	・会員数 14地域13団体 ・体験者数 4,100人 ・うち宿泊体験者数 853人	・会員数 14団体 ・体験者数 4134人 ・うち宿泊体験者数130人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,311	3,658	3,155	3,533	0	
	直接経費 A	2,062	1,430	969	1,276	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	71	38	70	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	377	0	247	0
一般財源	2,062	982	931	959	0		
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	グリーンツーリズム体験事業参加者総数(宿泊を伴うもののみ)	人	目標	0	0	500	540	500
				実績	0	0	853	1330	0
	(指標の説明) 本市グリーンツーリズム連絡会会員の主催する体験事業の参加者総数(宿泊を伴うもの)								
2	鳥取市グリーンツーリズム連絡会会員内の体験事業参加者総数(体験のみの者も含む)	件	目標	0	0	4000	4150	4200	
			実績	0	0	4100	4134	0	
(指標の説明) 本市グリーンツーリズム連絡会会員の主催する体験事業の参加者総数(体験のみの者も含む)									
3	農林漁家による簡易宿所または、民宿の新規開設件数	件	目標	0	0	1	1	1	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明) 農林漁家による簡易宿所または、民宿の新規開設件数									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 振興係 0857-20-3185</p> <p>【9次総の施策体系】 4204</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 4 0 (企 0 2 0)、6月補正・P 1 2 (企 0 0 5)</p> <p>【事業の概要】 豊かな自然や風景、地域ではぐくまれた特産物、固有の伝統芸能や文化財など多様な地域資源を生かし、都市住民との交流を行うグリーンツーリズムが各地域で実施されている。これらの取り組みを全市や東部一円で連携して推進する。 ・鳥取市グリーンツーリズム連絡会の活動支援 ・とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援 ・武蔵野市自然体験交流事業支援</p> <p>【事業の成果(年度)】 ・鳥取市グリーンツーリズム連絡会会員数 H24 11団体、H25 13団体、H26 14団体 ・武蔵野市自然体験交流事業 受入家族数及び人数 H24 14家族40人、H25年 隔年開催、H26 8家族24人</p> <p>【今後の課題・方向性】 グリーンツーリズム連絡会並びにとっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の会員増加を促進し、教育旅行・着地型観光の推進を図る。</p> <p>※その他財源の諸収入は、武蔵野市家族自然体験交流事業参加者負担金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	グリーンツーリズム体験事業参加者総数(宿泊を伴うもののみ)			171%	246%	
	2	鳥取市グリーンツーリズム連絡会会員内の体験事業参加者総数(体験のみ)			103%	100%	100%
	3	農林漁家による簡易宿所または、民宿の新規開設件数					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域の資源を活かしたニューツーリズムの推進への期待は拡大傾向にあり、また、市全体や1市4町で取り組みを実施しているため市が関与すべき内容である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	新規会員の加入、交流人口の増加等ある程度の成果が見られる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	支援先団体を通じて知識向上が行われ、各会員団体の取り組みに活かされている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業推進を通じて鳥取市の魅力向上につながっている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>ニューツーリズム志向は年々高まっており、着地型観光も注目されている。近年はその教育効果を求め、本市においても学童生活体験事業が積極的に拡大展開され、鳥取県としても教育旅行の誘致を推進している。農山村と都市部との交流機会をさらに拡大し、相互理解、一体的発展に寄与する事業として引き続き関係団体への支援を強化する。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	001949	重点事業区分	リープロ3	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	UJIターン促進事業		所属名	企画推進部地域振興監 地域振興課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、 根拠計画等	社会資本総合整備計画(国交省)
施策	4204	移住・定住の促進				
目標の種別	目標の種別		平成23年度	平成28年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	移住・定住人口累計		750人	0人		
	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合		0%	0%	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	UJIターン住宅支援事業費			予算事業コード	01-02-01-07-01-31

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)		本市への移住 (U J I ターン) 希望者
意図 (どのような状態にするために)		本市内に自らが定住する目的で住宅を新築し、購入し、又は賃借する者に対し、その住宅の建設、購入又は改修に必要な費用の一部を助成することにより、もってU・J・Iターン者の住生活の安定向上を図り、人口増加により本市の活性化を促進することを目的とする。
手段 (どうするのか)		移住する目的で住宅を購入、建築又は改修する者に、200万円を限度として補助。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		<ul style="list-style-type: none"> お試し定住体験事業、UJIターン者受入自治会等支援事業、UJIターン住宅支援事業を実施 移住定住推進員設置事業及び地域住宅モデル普及推進事業を外部委託 	移住定住者の住宅の購入・新築・改修を支援	移住定住者の住宅の購入・新築・改修を支援	移住定住者の住宅の購入・新築・改修を支援	移住定住者の住宅の購入・新築・改修を支援	移住定住者の住宅の購入・新築・改修を支援
事業費	年度別実績	<ul style="list-style-type: none"> お試し定住体験事業、UJIターン者受入自治会等支援事業、UJIターン住宅支援事業を実施 移住定住推進員設置事業及び地域住宅モデル普及推進事業を外部委託 	○支援件数 ・新築 11件 ・購入 7件 ・改修 8件 ・移住定住者数 26世帯71人	○支援件数 ・新築 7件 ・購入 9件 ・改修 9件 ・移住定住者数 25世帯61人	○支援件数 ・新築 10件 ・購入 2件 ・改修 4件 ・移住定住者数 16世帯42人		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
事業費	事業費(A+B)	19,695	20,742	19,019	14,685	0	
	直接経費 A	18,945	19,999	18,290	13,933	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	14,997	14,721	6,965	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,945	5,002	3,569	6,968	0		
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				1	移住相談登録者数(年間)	人	目標	300
			実績	396	380	383	489	0
	(指標の説明) 定住促進・Uターン相談支援窓口の相談登録者数							
2	本市への移住者数(年間)	人	目標	130	130	180	180	180
			実績	237	214	288	351	0
	(指標の説明) 定住促進・Uターン相談支援窓口を通じて移住した人数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 移住定住促進係 0857-20-3184</p> <p>【9次総の施策体系】 4204</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 37 (企013)</p> <p>【事業の概要】 本市内に定住の目的で市内に住宅を購入、建設又は賃借する者に対し、その購入、建設又は改修工事に要する費用を助成する。(上限2,000千円) 日常生活の拠点となる住宅の整備を支援することで、UJIターン者に安心感を持って頂き、定住者の増加が期待できる。 ・補助対象者は、鳥取県外の在住者又は鳥取県外から転入して6か月以内の者とする。 ・補助金の交付を受けた者は、事業完了後5年以上住民登録をすること。 ・実施業者は、鳥取市内に本店又は営業所等を置く業者とすること。</p> <p>【事業の成果(年度)】 H24 H25 H26 1. 新築件数 11件 7件 10件 2. 購入件数 7件 9件 2件 3. 改修件数 8件 9件 4件 4. 移住定住者数 26世帯71人 25世帯61人 16世帯42人</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市の移住定住施策を内外に強くアピールするとともに移住定住者増に大きな効果をあげており、今後も継続して推進する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	移住相談登録者数(年間)	132%	127%	128%	163%	
	2	本市への移住者数(年間)	182%	182%	160%	195%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本市の移住定住施策を内外に強力にアピールする先導的な役割を担っている事業である。(県外在住UJIターン者支援事業)
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	移住定住者の大きな課題である住居に関して直接支援する事業であり、移住定住促進に大きな成果を挙げている。(県外在住UJIターン者支援事業)
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市内企業への発注義務等地域経済も含め高い費用対効果が得られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	賃貸に係る住宅家賃等に対する支援について検討することが求められている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>平成18年9月の相談窓口開設以降の移住定住者が795世帯、1,603人(平成26年度末)に到達している。内約3割の移住定住者が、本事業を適用している。本市の移住定住施策を内外に強くアピールするとともに移住定住者増に大きな効果をあげており、今後も継続して推進する。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	001952	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	在住外国人支援事業		所属名	政策企画課	国際交流プラザ

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 的	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4204	移住・定住の促進				
標 的 の 目 的	目標の種類		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	移住・定住人口累計		750人	1,360人	運営方法	直営
	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	在住外国人支援事業			予算事業コード	01-02-01-07-12-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市に在住する外国人
意図 (どのような状態 にするために)	在住外国人が安心して生活しやすい環境づくりを行う
手段 (どうするのか)	新留学生に対する自転車の提供 日本語習得のための支援と複数言語での生活相談対応 パンフレットの作成・配布による事業参加・施設の利用促進

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		年度別計画	新留学生に対する自転車の提供	新留学生に対する自転車の提供	新留学生に対する自転車の提供	新留学生に対する自転車の提供 日本語ボランティアのつどい開催 パンフレットの作成・配布
年度別実績	50台配布	50台配布	50台配布	50台配布 日本語ボランティアのつどい実施 パンフレット400部作成・配布		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	282	281	290	359	0
	直接経費 A	282	281	290	359	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	282	281	290	359	0	
人件費 B	0	0	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				1	留学生生活支援	台	目標 50	50
	(指標の説明) 新留学生に対する中古自転車の提供		実績 50	50	50	50	0	
2	パンフレットの作成・配布	枚	目標 0	0	0	200	200	
	(指標の説明) パンフレット作成・配布による事業参加と施設の利用促進を図る		実績 0	0	0	400	0	
3			目標 0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績 0	0	0	0	0	

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253</p> <p>【9次総の施策体系】4204</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新留学生に対する自転車(年50台)の提供 2 日本語ボランティアの活動支援 3 国際交流プラザの紹介パンフレットの作成・配布 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新留学生に対し自転車を配布(鳥取市国際交流連絡会:タイム)に事業委託 23~25年度 各50台 2 日本語ボランティアのつどいを実施 3 パンフレットを400部作成。在住外国人、関係団体等への配布を実施 <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>在住外国人が安心・安全な生活をおくることができるよう、日本語習得支援や地域住民との交流などの推進を図る必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	留学生生活支援	100%	100%	100%	100%	
	2	パンフレットの作成・配布				200%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	在住の日本人と同様に外国人に対しても安心・安全な生活ができる環境づくりを行うことは必須であり、継続して取り組む必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	支援をすることで外国人が安心して生活できるだけでなく、地域住民との交流の場も増え国際交流の促進につながる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	物資の支援に限らず、日本語習得・地域住民との交流支援を積極的に実施することで支援の効率はより高まる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	在住外国人が生活しやすい環境づくりをすすめることは、市民にとっても相互作用となり有益である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>在住外国人が安心・安全な生活をおくるための環境づくりの支援は、外国人の多様化に伴い生活相談や日本語習得支援、地域住民との協働等さらに必要になってくる。支援を実施することは、市民生活の安定にもつながるため継続して実施することがのぞましいと思われる。</small>	

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253</p> <p>【9次総の施策体系】4204</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 異文化・国際理解を深め国際交流を促進するため、外国語講座、講演会や料理教室、交流イベント事業の実施を推進する。</p> <p>【事業の成果】 1 外国語講座（6講座49回197名参加） 参加人数 23年度：154名、24年度：116名、25年度：149名 2 交流イベント（6種10回322名参加） 参加人数 23年度：320名、24年度：284名、25年度：255名</p> <p>【今後の課題・方向性】 国際化の進展に伴い、国際意識向上の必要性は高まっている。継続して交流促進、異文化・国際理解の推進を図る必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	国際理解推進講座	96%	73%	93%	123%	
	2	交流イベント	107%	107%	85%	107%	107%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	事業の実施を通して、地域の国際化の推進が図られる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	様々な事業を実施する中、参加人数も少しずつ増えている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	国際交流員や地域人材を活用し、交流事業をすすめているため、効率的で継続的な交流も可能。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業の対象は、在住の日本人と外国人の双方で全市民対象としている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>国際化が進む中で住民の国際意識の向上、理解推進のための異文化交流は欠かせない。今後はさらに、広報を十分にするなどして住民の関心が高まり、参加を促進するよう実施していく必要がある。</small>	